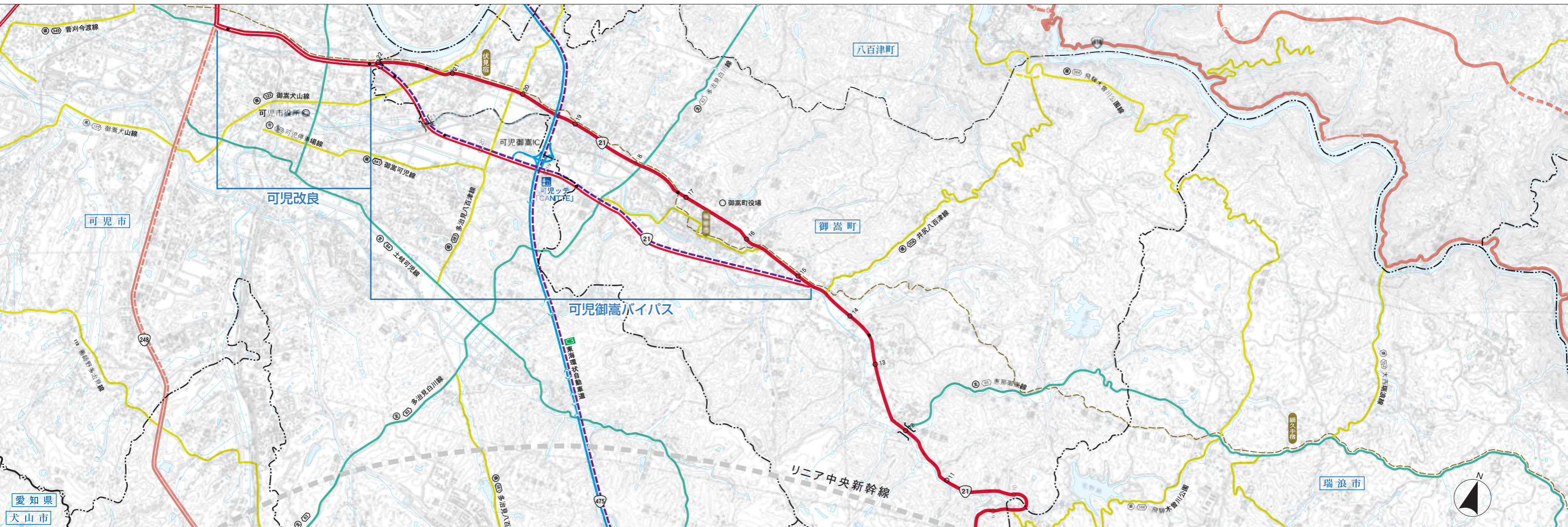


国道21号



かにみたけ 可児御嵩バイパス 可児郡御嵩町井尻～可児市中恵土(L=8.00km)

国道21号可児御嵩バイパスは、岐阜県可児郡御嵩町井尻から可児市中恵土に至る延長8.0kmのバイパスであり、現道21号の交通渋滞の緩和、交通安全の確保とともに、東海環状自動車道可児御嵩ICへのアクセスの確保を目的に計画した道路です。平成22年10月30日に全線2車線暫定開通しました。

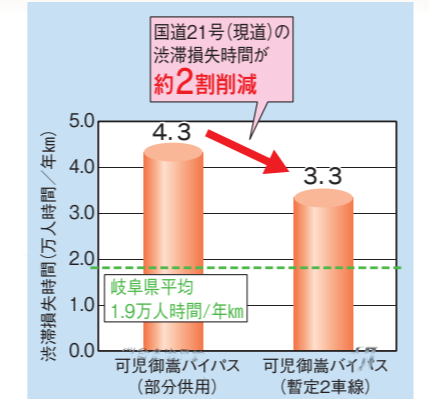


上恵土交差点 (整備前 H17.5)



上恵土交差点 (整備後 H29.2)

国道21号(現道)の渋滞損失時間の削減効果



ストック効果 開通後も沿線に大型商業店舗が立地



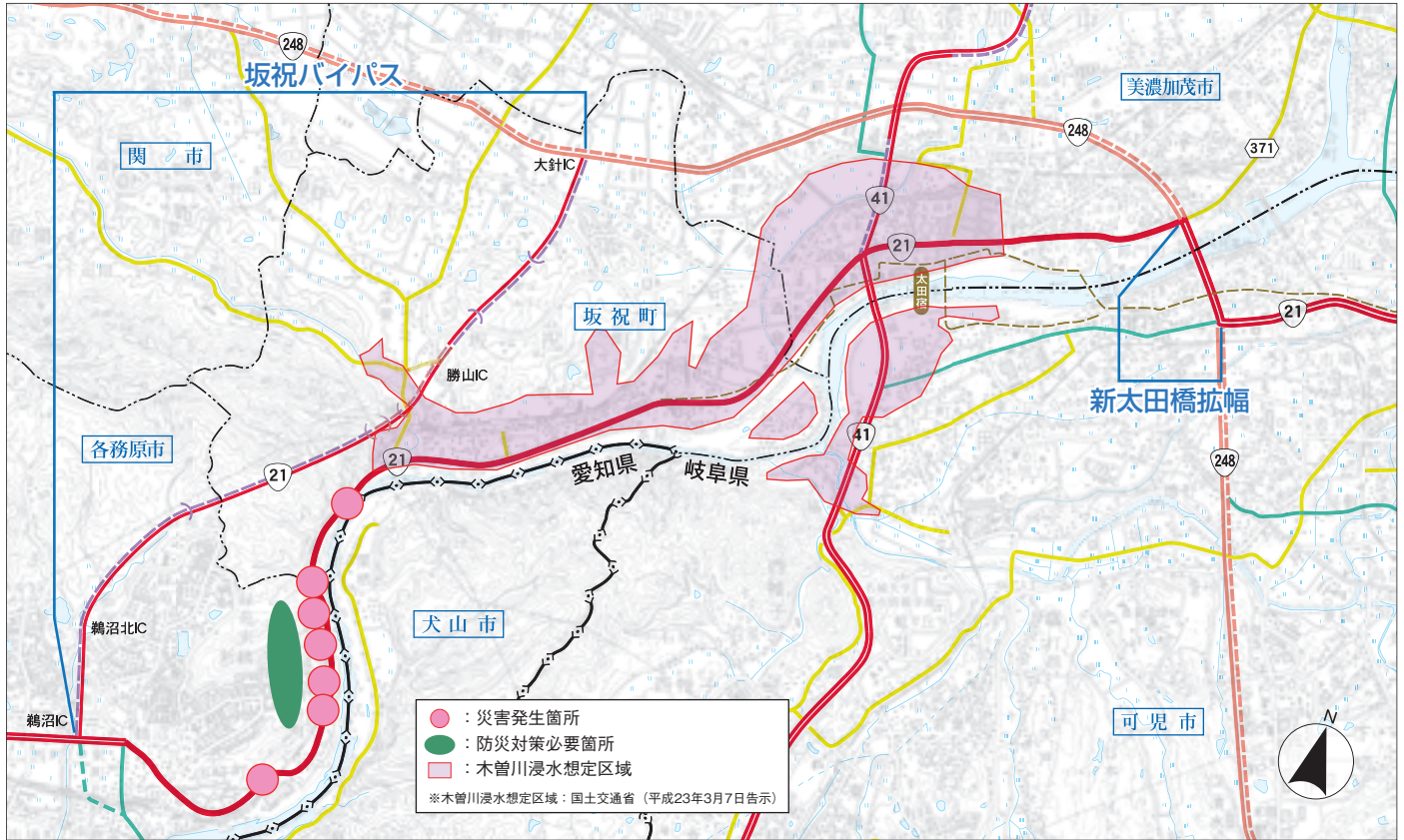
H28.11 撮影

ストック効果 周辺工業団地の用地が完売、御嵩町の製造品出荷額が約2倍に増加



H27.9 撮影

国道21号



さかほぎ 坂祝バイパス 加茂郡坂祝町大針～各務原市鵜沼東町 (L=7.6km)

国道21号の交通渋滞の緩和、防災対策必要箇所や木曽川浸水想定区域の回避（災害時の緊急輸送道路の確保）を目的に、平成2年に事業着手し、平成21年3月に勝山IC～鵜沼IC（延長4.3km）を暫定開通しました。引き続き事業進捗し、大針IC～勝山IC（延長3.3km）を平成28年3月に全線暫定開通しました。



整備中 (H25.12)



整備後 (H28.7)

しんおおたばし 新太田橋拡幅 可児市今渡～美濃加茂市御門町 (L=0.96km) (橋長360m)

国道21号新太田橋は、国道21号、県道371号（旧国道41号）、国道248号の主要な道路が集中する交通の要所であり、主要渋滞箇所として位置付けられていました。国道21号新太田橋拡幅は、交通渋滞の緩和、交通安全性の向上を目的に、平成17年度に事業着手し、平成23年6月に開通しました。



整備前 (H15.4)



整備後 (H27.9)

新太田橋通過時間は16分（整備前）から3分（整備後）となり、13分短縮されました。

※整備前：H20.11、整備後：H27.9 測定